

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 （ 個 人 質 問 ）

【質問日】 令和7年9月9日（火）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
13	森 永 靖 子	1 6月議会で可愛小学校とその周辺における施設整備の質問に対して、その後の全ての項目の進捗状況を伺う。 2 健康な食生活に向けて ・ 人に良いと書いて「食」、食育とは人を良くすることを育むと教わった。 - ア 知育・徳育・体育の基礎となる食育について、どのように考えているか伺う。 - イ 早寝早起き朝ごはんをよく言葉にするが、朝食の欠食が多いと聞く。朝食は1日の始まり、活力の源は朝食からと言われる。そこで朝食を食べない人の割合を年代別に伺う。 - ウ 結果についてどのように思われるか伺う。 - エ 朝は金・昼は銀・夜は銅と言われるくらい、大事な朝ごはんだが、働く両親が増え、時間がない、作るのが面倒という声が多い。そこで簡単で栄養値のある朝ごはんレシピの募集をする考えはないか。また、そのレシピ集を作成し、保護者や希望者に配布する考えはないか伺う。 - オ 食べなくては生きていけない。親子料理教室、子ども料理教室等を開催し、子どもでもできる正しい知識を普及できないか伺う。 3 女性模擬議会について ・ 令和4年第4回9月議会で女性議会について質問したが、市長の答弁が「議会において検討して判断していただきたいというふうに考えております」という答弁であった。世の女性たちから私がいる間に女性たちでつくる議会を実現してほしいとの声を受けて今回、また女性模擬議会について市長の見解を求める。
14	福 田 俊 一 郎	1 重要港湾川内港の物流等の状況及びガントリークレーン等の設備について (1) 外貿コンテナについて - ア 令和6年の外貿コンテナ取扱量と貨物の中身について伺う。 - イ 令和7年の外貿コンテナ取扱量の状況について伺う。 - ウ 令和6年の外貿コンテナ取扱量の輸出入の割合について伺う。 - エ 平成30年から継続して外貿コンテナ取扱量2万TEUを達成した主要因について伺う。 - オ 唐浜港コンテナヤードの拡張により見込める取扱貨物量について伺う。 (2) ガントリークレーン等の港湾設備について - ア ガントリークレーンの購入及び運搬、設置の費用について伺う。 - イ ガントリークレーンの所有者及び維持管理、メンテナンスの費用について伺う。 - ウ ガントリークレーンのオペレーター及び荷役作業員の配置、運用体制、始動の時期について伺う。 - エ ガントリークレーン導入による荷主等への効果について伺う。

		(3) 国際物流拠点の強化による将来の見込みと課題について ア トランプ関税の影響について伺う。 イ 令和11年の川内港貿易額及びコンテナ取扱量の目標値達成に向けての取組について伺う。 ウ 重要港湾川内港に期待される経済的波及効果を踏まえた支援施策や財政的取組について伺う。 2 介護保険制度の展望について (1) 超高齢社会における介護保険制度の現状について ア 介護保険料について伺う。 イ 介護職員の慢性的な不足について伺う。 ウ 人手不足による事業サービスの低下について伺う。 エ 職員の処遇改善と介護事業者の経営について伺う。 (2) 介護保険制度の支援策について ア 本市独自の財源確保について伺う。 イ 介護職員の人材確保と定着促進について伺う。 (3) 介護保険制度の充実強化に関する全国市長会の取組について伺う。 3 石川祐希選手や高橋藍選手らバレーボール男子日本代表と市民のふれあいについて ・ 多くの市民が選手の皆さんを間近で観るための取組について伺う。
15	山 元 剛	1 「SDGs 未来都市・薩摩川内市」の取組について (1) 重要港湾川内港「唐浜地区国際物流ターミナル整備事業」について ア 現在の整備状況を伺う。 イ 外貿コンテナ取扱量及び木材輸出の拡大に向けた取組を伺う。 ウ 今後の川内港における貿易の展望を伺う。 (2) サーキュラー都市構想（環境・経済）について ア 現在の取組状況について伺う。 イ サーキュラーパーク九州内に設置された鹿児島大学サテライトラボの現状と取組について伺う。 ウ サーキュラーパーク九州に続く新たな企業誘致など、現状と当局が考える展望を伺う。 (3) アクセス道路の現状と展望について ア 川内港を中心とした、主要都市及び隣接地域への整備はどのように考えているか当局の見解は イ サーキュラー都市構想の実現に向け、幹線道路及び背後地の整備などインフラ整備の優先順位は高いと考えるが、当局の見解は 2 3世代同居の取組について (1) 本市の3世代同居の現状と、具体的に取り組んでいる事業があるのか伺う。 (2) 他の市町村では前向きに取り組んでいる自治体もあるが、当局はこの取組について現在どのように考えているか見解を伺う。 (3) 核家族が進行した現在の環境の下で、家庭教育や介護などの課題に向き合う取組の一つと考えるが、当局の見解を伺う。 3 建設業及び農林業の産業従事者について (1) 本市の産業に従事している人数はそれぞれどのくらいか。 (2) 担い手不足の施策は、多岐にわたり取り組んでいるが、当局が考える魅力ある誇れる仕事であることを、もっと意識付ける施策の展開も必要

		と考えるが、当局の見解を伺う。 4 教育行政について (1) 市立小中学校のトイレ洋式化の現状を伺う。 (2) 「ひっ飛ば薩摩川内ジュニア英語学研修事業」の成果を伺う。 (3) 子どもたちの地域における挨拶に課題があると以前答弁されたと思うが、その後、何か検討され取り組んだことがあるか伺う。
16	山中真由美	1 学校徴収金キャッシュレス化のその後について (1) 前回の質問から学校徴収金のキャッシュレス化がなされた学校は何校あるか。 (2) 薩摩川内市スマートデジタル計画が策定されスタートしたが、学校徴収金の徴収の負担軽減、学校徴収金管理システム導入事業の調査はどのようなになっているか具体的に伺う。 (3) 今後、導入・運用に至るまでどの程度期間を要するか、当局としての見解と課題を伺う。 2 要支援児や配慮を要する子どもが通う幼稚園・保育園・認定こども園の実態について (1) 本市の未就学児で要支援児や配慮を要する子どもが通う受け皿は足りているか。 (2) 現在、本市の各園における要支援児や配慮を要する子どもの人数や割合を伺う。 (3) 各園で実施されている支援はどのようなものか。 (4) 保護者や園からの支援ニーズに対して、市としてどのような対応・支援を行っているか。 (5) 市として今後、要支援児や配慮が必要な子どもに対する支援体制をどのように整備・強化していくのか具体的なビジョンや中長期的な方向性を伺う。 3 不登校支援の現状について (1) 学びの保障に関して ア 不登校児童生徒に対する「出席扱い」はどのように実施しているか。 イ ICTを活用したオンライン学習の取組状況を伺う。 ウ スマイルルームにおいて、不登校児童生徒の学びを個別最適化するための「個別学習計画」はどの程度作成され、どのように活用されているか。 (2) 居場所づくり・多様な学びの場について ア 教育支援センター「スマイルルーム」の利用状況と利用者からどのような声があるか。 イ ICT・メタバース等の新技術活用による不登校児童生徒の居場所づくりや支援プログラムの導入についての見解を伺う。 (3) 今後の施策展開と予算措置について ア 本市として今後5年間で重点的に取り組むべき不登校対策は何か。 イ 国の交付金・補助金等を活用した独自施策の導入の予定はあるか。 (4) 国が進める「学びの多様化学校（不登校特例校）」の設置について、本市としての検討状況を伺う。 4 漁業者支援と藻場（アマモ場等）保全・再生について (1) 現在、本市における漁業者数はどのくらいか。 (2) 本市の海面漁業者数の過去5年間の推移はどうなっているか。

		(3) 漁業者数の減少が確認されている場合、市としてその実態に対してどのような支援・施策を行っているか。 (4) 本市沿岸部における磯焼け・藻場減少の現状は (5) モニタリング体制はどうか。 (6) 藻場を荒らす食害対策について市の関与や支援制度はどうなっているか。 (7) 漁協との連携についてはどうなっているか。 (8) 水産統計は整備されているか。 (9) カーボンニュートラル戦略と藻場の再生の位置付けは (10) 本市漁業の衰退が懸念される中で、市長はこの現状をどう受け止め、将来をどう描いているのか伺う。
--	--	---